

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和7年 3月 11日

事業所名：ほめてこ広瀬教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			<ul style="list-style-type: none"> ・法令で定められた設備基準を遵守したスペースを確保している ・マットを色分けしてあるので活用しやすい ・今ほとんどの日で14から15人の利用者がいる。少し狭く感じる。 ・活動室が広く児童が15人いても窮屈感なく活動ができる ・広いスペースがある
	②	職員の配置数は適切である	○			<ul style="list-style-type: none"> ・基準に沿った配置ではあるが、子どもの特性により足りないと感じる時がある ・その日による。 ・今は6人体制がほとんどである。やはり利用者数÷2は欲しい ・多くても職員1人につき、児童が2人ほど。 ・子供の人数に合わせて配置されている
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーではない ・一日のスケジュールの写真、送迎のスケジュールが生徒のタイムラインの認識の助けになっている ・タイムタイマーが切り替え(活動)にもものすごく役立っている ・分かりやすく視覚を使ったものを使っている ・バリアフリーになっている部分となっていない部分がある ・バリアフリーはなされていない。また、トイレのウォッシュレットは難しいのだろうか？ ・玄関、活動室、トイレ、事務室全てフラットである ・視覚で分けるように工夫してある
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて視覚的にわかりやすく提示している ・毎日毎回消毒、清掃されている ・ゴミ箱がいっぱいになる率が早くなっておやつ前にはみ出る ・掃除、消毒している ・上記の通りトイレのウォッシュレットを実現したい ・整理整頓を心掛けたり、活動しやすい環境を意識している ・毎日の清掃、消毒は欠かさない。遊具も十分における
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に会議等を行い、情報の共有化を行っている ・教室ミーティングで共有されている ・教室ミーティング、朝礼

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
業務改善	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談を行い、意向等を把握できるようにしている ・保護者のニーズ(送迎の順番など)沿える努力がされている ・申し送りノートの確認印と読み上げで共有を強化。 ・ホームページ ・行っている ・保護者の意見を必要であれば取り入れて、改善につなげる
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・評価表は職員間で共有し、改善に努めている。HPにて公開している ・ブログ、ホームページが更新されている ・HPに公開している ・ホームページで公開している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・第三者が誰か分からない
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・児発管を中心にアセスメントを行い保護者と面談を実施、支援計画を作成している ・セミナーの情報などが発表されている ・教室ミーティング時にしている ・都度実施している ・教室ミーティングは定期的に実施されている ・研修を行い、資質向上に努めている ・研修旅行などを通して行っている
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・児発管を中心にアセスメントを行い保護者と面談を実施、支援計画を作成している ・保護者、相談員との面談、観察がある ・行っている ・特に支援の必要な子に対しては、アセスメントの元に保護者との共有を図り、作成している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインに基づき支援内容を作成している ・行っている ・子どもの状況に合わせて活用している

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に職員間で支援計画に沿った支援を行っているかの確認を行っている ・一人一人に計画書が作られている。支援の目標に沿って観察したものの提供する機会がある ・共有しながら実施している ・行っている
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・適切に行っている ・職員で確認している ・常勤を中心に立案されている ・担当を決めて行っている。長期休みのイベント等は全体で決めている
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちに合わせたプログラムを立案している ・工作、運動、イベントなどはバラエティに富んでいる ・運動、アナログ、工作メニューを変えている ・努力している ・運動療育は様々なメニューを行っている。アナログゲーム療育は2か月に1回ゲーム交換をしている
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・子供の状況に応じた活動を行い、支援計画を作成している
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供開始前にミーティングにてその日の活動、児童状況などの確認を行う ・朝礼 ・ミーティングを行っている ・朝礼は必ず実施されている。内容や申し送り事項など確認されている ・朝礼にて行っている ・始まる前にはその日の活動報告、個別に対応が必要とされること等を確認している ・支援開始前には必ず打ち合わせや様子を共有している
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・業務後のミーティングにて支援内容の記録を必ず残している ・朝礼で打ち合わせがある。各児童に対する注意点を知れる ・終礼 ・振り返りを行っている ・終礼はある程度時間をかけてその日の問題点など振り返りを実施し、共有している ・その日の振り返りをして、職員間で共有している ・子どもの気づき等出し合い、次の支援につなげている ・終礼にて行っている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援内容を必ず記録している ・HUG、申し送りノートがある ・注意点や申し送り事項をノートにして記録し、全員で確認している ・HUGを用いて記録を取ったり、申し送りノートをとるなどしている ・毎日の記録は欠かさない。支援の検証、改善に繋げている ・記録に残し、全職員目を通してしている
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・6か月ごとに行われていると聞いている ・6か月 ・事業所がモニタリングに来て、子供の様子を把握、また聞き取りをしている ・行っている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・担当者が参画している ・児発管が参加 ・管理者、児発管が参画している ・管理者を中心に参画している
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・相談員と連携して行っている ・あまり行っていない、相談員と連携を取っている
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・いない ・医療ケアが必要な子がいない
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・いない ・該当者がいない
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っている ・送迎時に話し合われることがある ・お母さまを通じて共有している
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っている ・特になし
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援員を介している
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の連絡会に参加している

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・子供の状況を日ごろから保護者とコミュニケーションを図る中で情報を共有するよう心掛けている ・送迎時に伝えあっている ・小さなケガも必ず伝えている ・送迎時や面談等で伝えている ・HUG、送迎、TELにて伝えている ・送迎時やHUGなどによって連絡を密にしている ・送迎時やHUG、面談等で伝えている
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム（ペアレント・ トレーニング等）の支援を行っている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・相談を受けた際には個別で対応できるように心がけている ・送迎時や電話などで支援している ・ペアレントトレーニングではないが、講演会はあった ・保護者向けの講演会等を行っている
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に十分時間をとり説明を行っている ・契約時に説明していると聞いている ・契約時にしている ・契約時などに説明している
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、 これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示し ながら支援内容の説明を行い、保護者 から児童発達支援計画の同意を得ている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・面談の時、支援計画について丁寧に説明を心掛け、保護者に理解していただいたうえで同意を得ている ・契約時などに説明している
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対 する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・相談があった際には必要に応じて個別対応している ・児発管を中心に行っている ・HUG、送迎、TELにて伝えている ・行っている
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している		○		<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会を開き、活動の報告、保護者からの情報を共有している。保護者同士のコミュニケーションを図る
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・相談等があったときには、迅速かつ誠実に対応するよう努めている ・かなり優先して行っているように感じる ・管理者、児発管が対応している ・行っている ・その場に応じて速やかに対応することに努めている
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のほめてこだよりを発行している ・ほめてこだより、ブログ、手紙、HP、HUG ・毎月、ほめてこだより ・行事の連絡 ・定期的(月1回)に会報を発行している ・毎月の便り発行している

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付き書庫にて適切に取り扱っている ・鍵付き書庫での保管 ・守秘義務を徹底している ・個人情報の取扱いは十分に注意している ・個人情報が載っているものは鍵をかけて管理している
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的にわかりやすくしている ・精通ができた方法、様子などは共有している ・写真や絵カード ・言葉だけでなく、カードやジェスチャー等も用いてコミュニケーションをしている
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・実施していない
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルを作成し、職員に周知している ・ミーティング時に研修などがある ・訓練は都度実施している。職員に周知している ・マニュアルに関しては少し不安なところもある。訓練も足りないと思われる。 ・会議等で確認しあっている ・教室ミーティング等で周知させている
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で災害時に必要な訓練を行っている ・消火訓練がある ・避難、消火訓練している ・訓練はもっとしっかりやるべき ・火災(通報、消火)、避難場所の誘導訓練実施。 ・避難訓練を行っている。防災バッグを玄関付近に置いている
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に確認を行っている ・各児童の状況を確認している ・事前に確認、把握している
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・対応する児童はいない ・対応表あり ・アレルギーの確認はできている ・氏名を一部隠してアレルギーの種類と対応が記載してあるものを全員がすぐに確認できるようにしている ・医師の指示書を預かり、それに基づき対応
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で共有している ・ヒヤリが起きたとき記入してミーティングにて共有している ・ヒヤリハットの共有はできている ・事態が起きた際には、記録に残して職員間で共有している ・全員が確認できるようにしている

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている				<ul style="list-style-type: none"> ・年に2-3回研修の機会を設けている ・ミーティングがあった ・教室ミーティング時に行っている ・ミーティングを行っている ・虐待防止に関する研修会が開かれた ・研修会で得た資料を基に職員間で共有している ・ミーティングで行っている
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				<ul style="list-style-type: none"> ・実績はないが、職員間で周知、研修を行っている ・そういうことになったときは保護者の方に報告している ・身体拘束を実施についてはその都度の問題もあるが、かなり難しい問題と思われる ・ミーティングで行っている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和7年3月11日

事業所名：ほめてこ広瀬教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			<ul style="list-style-type: none"> ・法令で定められた設備基準を遵守したスペースを確保している ・広いスペースなので鬼ごっこなど運動の時も十分に楽しめている。 ・ボックスにランドセルが収まらず、ボックス付近は危険で靴下など間違えやすい ・今ほとんどの曜日で14～15人の利用者がいる。少し狭く感じる ・広く児童が15人いても窮屈感なく活動ができる ・広いスペースがある 	
	②	職員の配置数は適切である		○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性によって足りないと感じる時がある。 ・子供の人数に合わせて配置している ・多くても職員1人につき児童が2人ほど。 ・もう1人欲しいときもある ・今は6人体制がほとんどである。やはり利用者数÷2は欲しい 	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーではない ・マットがはがれてつまずき転倒することがなくなった。 ・運動用具の横部屋の用途を児童に認識させてほしい ・バリアフリーになっている ・玄関、活動室、トイレ、事務室全てフラットである ・部分部分出来ていないところがある ・バリアフリー化はなされていない 	
業務	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供時間前にミーティングを行い、業務改善に取り組んでいる ・お出かけの行き帰りの車の中でPDCAサイクルを緩く行っている ・活動前のミーティング、終礼等きちんと行っている ・目標に向け関わりながら対策に繋げている ・ミーティング（教室ミーティング）、朝礼等 ・日々振り返りを行い、記録ノートで共有している 	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に評価表を作成していただき、業務改善に取り組んでいる ・アンケートの評価を考慮し、改善を努力している ・保護者の意見を必要であれば取り入れ、改善に繋げている ・行っている 	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
改善	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・HPにて公開している ・ホームページで公開している ・HPに公開している ・ホームページで公開している ・ホームページ 	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は行っていない ・第三者が誰かわからない 	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止、身体拘束などの研修を年に2-3回、その他外部研修もある ・気が付かないことが多いので、短いパフォーマンスなどで資質向上してもらいたい ・研修を行い、資質向上を図っている ・メンタルビジョントレーニング、研修旅行など ・教室ミーティング時にしている ・教室ミーティングは定期的実施されている 	
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・6か月に1回、個別支援計画の見直しを行い、保護者に同意をいただいている ・児童の変化や言動に注意を払って、前向きな評価をするように努力している ・特に支援の必要な子に対してはアセスメントを基に保護者との共有を図り、作成している ・行っている 	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の抽出、個別支援作成の根拠資料として活用している 	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・個支に沿い、プログラムの立案を行っている ・特に長期休みの時はチームで考えている ・担当を決めて行っている。 ・長期休みのイベント等は全体で決めている 	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・曜日ごと、個々の活動能力に応じたプログラムを企画している ・色々なプログラムを実施している ・運動の不参加者が少なくなっている ・運動療育、様々なメニューを行っている ・アナログゲームは2か月でゲーム交換している ・運動、アナログ等メニューを変えている 	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・HUGにて日々の支援内容を保護者が確認できるようにしている ・平日、休日、課題が変化して決められている。長期休み前に行事、お出かけ、買い物、祭りなど予定されている 	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の活動能力に応じて集団活動が行えるよう個別支援計画を立案している ・作成、実施されている。こどもの状況も考慮されている ・行っている 	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
提 供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供時間前にミーティングを行い、支援内容の確認、役割分担を行っている ・活動開始前のミーティングを10分行われている。一日の流れ、児童の様子が伝えられている。 ・始まる前にはその日の活動の報告、個別に必要な子に対してのかかわり方等確認している ・朝礼を行い、児童の注意事項等を確認している ・朝礼 ・朝礼は必ず行われている。役割分担や内容の確認も実施されている ・職員間で打ち合わせをしてから支援に入り、児童の様子も共有している 	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供時間後にミーティングを行い、支援内容の振り返り、改善点の確認を行っている。また、申し送りノートに申し送り事項等を記入し、出勤していない職員にも周知できるようにしている ・終礼がきちんと行われ、小さいことでも気づいたことを伝えられる。 ・申し送りノートに反映され、改善に努力している ・その日の児童の様子、気づき等出し合い、共有、次の支援に繋げている ・終礼を行い、児童の様子等を確認している ・終礼 ・振り返りや申し送り、改善点などの確認が行われている ・その日の振り返りを行い、気づいた点など共有し、次に繋げている 	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援は記録し、個別支援の評価、見直しの根拠資料として活用している ・毎日記録をきちんと行われている ・毎日の記録は欠かさない ・HUGを用いて記録を取ったり、申し送りノートをとるなどしている ・毎日文章として記録を残せている ・記録に残し、お休みの職員も目を通せるようにしている 	
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を定期的に見直し、保護者に同意を得ている ・相談支援の方が時々来ている、モニタリングも来ている ・日々の観察また他の事業の方が来てもモニタリングで共有しあいながら活用している ・行っている ・6か月 ・チームで行っている 	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスガイドラインを基に運営を行っている 	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議には児発管が参加している ・行っている ・児発管が参加 ・管理者が参画している ・管理者、児発管が参画している 	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・引き渡し時学校の先生とお子様の状況を確認している ・各学校の予定表をもらっている ・下校時、迎えの際状況を確認している ・学校からのお便り（書面、口頭）での情報もある。 必要であれば連絡して解決策を考えている ・行っている ・保護者に確認している ・送迎担当者が下校時に必ず担任（担当教員）とコミュニケーションをとっている ・送迎時に情報共有等とれている 	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・行っていない ・いない ・現在は受け入れていない 	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員と情報共有を行い、就学前後の支援方針を確認している 	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		<ul style="list-style-type: none"> ・実績なし ・いない ・まだその事例はない 	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・行っていない ・相談や研修を受けていると聞いている ・専門機関の方との（モニタリング等）連携している ・都度連絡している 	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○		
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		○		<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回放デイの協議会を行って情報共有している 	
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・HUGや送迎時に保護者と状況や支援内容の確認等を行っている ・送迎時の話し合い、児童の状態の説明、電話で話し合っている。小さなケガも必ず報告して指示を求めている ・子供の様子は毎日伝え、共通理解を深めている ・送迎時やHUGなどで毎回状況等を伝えている ・送迎時や面談等伝えている ・送迎時の伝えあいやHUGによって保護者との連絡を密にしている ・HUGや送迎時、都度お話している 		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援内容についての報告を行い、ご家庭でも活用していただけるように情報共有を行っている ・気になったことなどは優しく行っている ・保護者向けの講演会等を行っている ・ペアレントトレーニングではないが講演会はあった 	
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明するとともに閲覧できるようにしてある ・契約時に詳しく行われている ・契約時に行っている ・契約時にしている 	
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・常に保護者からの相談等に応じ、必要に応じて適切に回答できるようにしている ・相談があったときは対応している ・相談があった時点で対応している ・行っている ・児発管を中心に行っている ・管理者を中心に相談を適切に行っている ・HUG,送迎時、都度話を聞いている 	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		<ul style="list-style-type: none"> ・あまり行っていない ・運動会に参加できる。ゲームの参加も。希望があればお子さんの活動の見学ができる ・茶話会を行い、活動報告、保護者からの話を受け入れる ・開催した時もあった 	
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付、解決責任者を置き、対応している。契約時に説明している ・活動前の朝礼や送迎後の終礼などで伝えられている ・迅速な対応を心掛けている ・行っている ・苦情や問題の発生では管理者を中心に迅速かつ適切な対応ができています ・都度HUGや送迎、TELでお聞きして、管理者、児発管が対応している 	
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回のほめてこだよりにて発信している ・ほめてこだより、ブログ ・毎日お便り配布、必要あれば活動予定を報告 ・月1回、定期的に会報を発行している ・毎月ほめてこだより ・通信やイベントなどを配布している 	
	㉖	個人情報に十分注意している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報については鍵付き書庫に保管し、適切に取り扱っている ・書庫に保管されている（鍵付き）。記録類は持ち出し厳禁になっている ・個人情報が載っているものは鍵をかけて整理している ・個人情報に十分注意している 	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・個々のお子様に応じ、視覚的にわかりやすく提示している ・一日の様子を伝えている。トイレカードなどで分かっている ・カード、ジェスチャー等も用いてコミュニケーションをとっている ・写真や絵カード
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ行ってない
非常時等の 対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	○				<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルを作成し、職員に周知している ・マニュアルが作成されている ・職員は共有、保護者にはお便りにて。 ・教室ミーティングで周知させている ・職員には周知できている
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・法令で定められた訓練を行っている ・教室ミーティング後などに訓練がある ・火災（通報、消火）、自身の訓練の実施 ・避難訓練を行っている。防災バッグを玄関付近に置いている ・避難訓練、消火訓練をしている ・訓練はなかなか出来ていない ・定期的に訓練を行っている ・避難訓練を実施している
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会を設置し、話し合った内容を教室ミーティングにて研修を行っている ・マニュアルが貼られている ・研修に参加、資料を基に職員間で共有している ・行っている ・教室ミーティング時に行っている ・研修会で確認している ・ミーティングを行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	○				<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会を設置し、話し合った内容を教室ミーティングにて研修を行っている ・事前に保護者との程度までなのかを必ず相談して行っていると聞いている ・行っている ・身体拘束では程度の問題もあると思われるが、なかなか難しい問題である ・もしそのような場合は必ず保護者に伝えている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの確認を必ず行い、職員に周知、適切に対応している ・おやつにシール、家庭からおやつを持ってくる ・指示書に基づく対応をしている ・氏名を一部隠してアレルギーの種類、対応が記載してあるものをいつでも見ることができるようにしている ・対応表がある ・アレルギーに関しては細心の注意を払っている ・保護者から細かいところを聞いた

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で周知している ・全員で共有できる。全員に口頭でも伝えている。読むように一人一人に促されている ・危険なことが起きそう、起こったときには記録に残し、職員で共有している ・全員が確認できるようにしている ・ヒヤリハットは共有できている ・事例があったときは全職員で共有し、再発防止に努めている ・ヒヤリになったら職員で共有している 	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。